【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-220708(P2000-220708A)
【公開日】平成12年8月8日(2000.8.8)
【出願番号】特願平11-23900
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｈ　　7/12
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｈ　　7/12　　　　　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月12日(2005.9.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
ところが、上記油圧式オートテンショナ５０は、オイルが高圧油室５５からシリンダ５２・ピストン５３間のクリアランス５９を上昇してから低圧油室５６へ下降する際に、低圧油室５６の上方の空気に触れるため、その空気を巻き込んで低圧油室５６に入ることがある。こうして低圧油室５６に混入した空気が高圧油室５５に入ると、油圧式オートテンショナ５０の機能を低下させる原因となる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の目的は、上記問題を解決し、高圧油室への空気の侵入を防止し、機能低下が起こらないようにして信頼性を高めることにある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
【発明の効果】
以上詳述した通り、本発明に係る油圧式オートテンショナによれば、高圧油室への空気の侵入を防止することができ、機能低下が起こらないようにして信頼性を高めることができる、という優れた効果を奏する。